

事務事業名	消防団運営事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	危機管理グループ	課長名	齊藤 雅孝
施策名	(13) 消防・防災対策の推進	担当者名	坂田裕二	電話番号 (内線)	0854-40-1027 3544
基本事業名	<038>消防体制の確保	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 415 015 110 012	非常備消防総務管理費	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	消防団活動に伴う団員報酬、運営費、出動手当、被服等消耗品の経費支出。消防団幹部会等、本団や方面隊の会議の開催、訓練等の活動支援などの業務を行う。	消防組織法により、合併前から継続している。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
団員報酬(49,939千円)、退団報償金・分団運営費等(35,282千円)、出動手当・日当旅費(9,373千円)、被服等消耗品(1,997千円)の経費支出。消防団幹部会等、本団や方面隊の会議の開催、訓練等の活動支援などの業務を行う。	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	30,041	21,790	28,273	30,000	30,000	
	一般財源	千円	70,277	69,175	68,318	70,229	70,229	
	事業費計 (A)	千円	100,318	90,965	96,591	100,229	100,229	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人						
消防団活動に伴う団員報酬、運営費、出動手当、被服等消耗品の経費支出。消防団幹部会等、本団や方面隊の会議の開催、訓練等の活動支援などの業務を行う。	正規職員従事人数	人	2	2	3	3		
	延べ業務時間	時間	788	831	1,155			
	人件費計 (B)	千円	3,005	3,231	4,553	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	103,323	94,196	101,144	100,229	100,229	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 消防団活動に伴う団員報酬、運営費、出動手当、被服等消耗品の経費支出。消防団幹部会等、本団や方面隊の会議の開催、訓練等の活動支援などの業務を行う。	⑤ 活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 平成23年度と同様	ア 延べ訓練回数	回	45	45	45	45	45	45
		イ 訓練参加延べ人数	人	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5600
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	① 市民 ② 消防団、消防団員	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 市民	人	42,402	41,917	41,159	41,032	40,650	40,059
	① 生命・財産を火災・災害から守る。 ② 消防団員を確保する。	イ 団員数	人	1,349	1,351	1,331	1,331	1,331	1,331
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	生命・財産を火災・災害から守る	ア 年間火災発生件数	件	18	10	19	8	8	8
		イ 消防団員充足率	%	94	94	92	92	92	92
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 年間火災発生件数	件	18	10	19	8	8	8
		イ 災害による年間人的被害者数	人	0	0	0	0	0	0

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
少子高齢、過疎化、社会環境の変化により、消防団員確保が困難になっている。防災、国民保護など、消防活動以外の活動が増えている。	平成20年度に組織検討委員会を設けて、組織の見直しを検討している。	団員数が年々少なくなっていることから、組織の見直しが必要だという意見がある。(消防団、市議会)

事務事業名	消防団運営事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 消防防災の体制強化のための事業であり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 消防団の設置は市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 消防団の活動は、市民の安全に繋がるので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 組織体制は団員確保の問題があり、現状維持がやっつとであるが、少ない人数でも扱える装備や装備そのものの能力向上が行われれば成果向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 消防団の設置は、市の責務である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 現状で消防団に替わる組織は考えられない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 火災出動、訓練など整理や人員及び車両の配置など組織見直しの必要性はある。ただし、時間を必要とする。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 必要最小限の人数で対応しており、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 消防団の設置は、市の責務であり公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	少子高齢化や就業形態の多様化により、団員確保が困難になっている。また、車両についても老朽化してきており、更新が必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
組織見直しについては、消防団や地域住民の理解を得ることが必須である。 地域でのバックアップについては、後援会組織の充実、地域自主組織内への自主防災担当部門の設置などを検討、推進する。																							